

「ダイナミック！！雪そり大会 in KOTOBIKI」

1 趣 旨

- ・雪上での活動を通して、親子の絆を深める。
- ・三瓶や周辺の自然環境に触れ、冬ならではの活動を楽しむ。
- ・早寝早起き朝ごはん運動の推進を通して、基本的な生活習慣の定着を図る。

2 事業の概要

- (1) 期 日 平成 30 年 3 月 3 日 (土) ～ 4 日 (日)
- (2) 会 場 国立三瓶青少年交流の家、琴引フォレストパークスキー場
- (3) 共 催 琴引フォレストパークスキー場
- (4) 協 賛 (有)セントラルスポーツ、コカ・コーラウエストベンディング株式会社
ネオス(株)出雲営業所、(有)マルニシ物産
- (5) 対 象 主として小学生とその家族
- (6) 参加者 97 名 (募集 100 名)
- (7) 日程・研修内容

3 月 3 日 (土)	3 月 4 日 (日)
13:30 事前そり練習 (希望者)	6:30 起床
15:30 受付	7:00 朝のつどい
16:00 開会式・オリエンテーション・そり大会の説明・レクリエーション	7:20 朝食
17:10 タベのつどい、夕食、入浴 (前半)	8:30 琴引フォレストパークスキー場に移動
19:00 選択活動	10:00 ルール説明
①雪灯ろうづくり (☂:②～④のどれか)	10:10 練習滑走開始
②サヒメルで天体観察 (☂:プラネタリウム)	11:00 雪そり大会競技開始 (タイムレース)
③クラフト活動 (まが玉づくり)	12:00 表彰式
④自主活動	12:20 現地解散
20:15 入浴 (後半)	13:00 送迎バス発
22:00 就寝	

3 事業の内容

(1)事業の特色

本事業は、琴引フォレストパークスキー場と連携し、ゲレンデの一面を貸し切ったそりコースを、スノーレーサーでダイナミックに滑る雪そり大会を開催する。家族で雪そりを楽しみ、親子の絆を深めることをねらいとしている。

(2) プログラムデザインと企画のポイント

1 日目は、受付を夕方とし、希望者は事前に交流の家周辺でそり練習を行うことができるようにした。夜は、家族で楽しく活動しながら絆を深めてもらうために、雪灯ろう、天体観察、クラフト活動、自主活動の中から、参加する家族の希望する活動をしてもらう。2 日目は、琴引フォレストパークスキー場に会場を移し、1 人乗りの部、2 人乗りの部でそり大会を行う。練習の時間をできるだけ多くとる

ことができるよう、スノーレーサーの乗り方・注意点、ルール説明などは前日に行い、朝食の時間も標準生活時間より 20 分早く設定した。

4 成果と課題

《成果》

- ・「1人乗りの部」、「2人乗りの部」の他に、急遽「大人の部」を設けた。これは参加者の声からできたものである。これにより、大人がただ子供の滑りを応援するだけでなく、自分自身も参加者となり、子供から応援されている姿が見られた。アンケートに「大人の部もでき、家族みんなで参加できたので嬉しかったです。」との記述もあった。
- ・ボランティアとして、9名の学生が参加した。安全管理上、たくさんの目で見てもらえたことで、最後まで大きな事故や怪我がなく事業を実施することができた。また、事前に打ち合わせをしっかりと行うことで、準備や大会の運営もスムーズに行うことができた。

《課題》

- ・大会中やそり練習の際、安全上、1組ずつスタートとしている。参加人数が多かったため、長い列ができ、結果的に1組当たりの練習回数は少なかった。アンケートに「もっと練習の時間を増やしてほしい。」との記述が複数あったように、練習の仕方や時間の設定を検討する必要がある。
- ・そり大会のルールについて、事後に「足をけり出すのは何回までいいの。ワックスを塗っている人がいたが、それを認めるのか。ルールを追加してほしい。」といった意見をいただいた。どのようなルールを設定するのかを検討し、大会時に参加者へ明確に示す必要がある。

<連携のポイント>

毎年、琴引フォレストパークスキー場と連携して「ダイナミック！！雪そり大会」を実施している。ゲレンデの一面を使用させていただくため、スキー場の利用者が多い時期は貸し切りにすることができない。そのため、開催の時期は2月末から3月の頭が望ましい。



選択活動の雪灯ろうづくり。風ですぐ消えただけとてもきれいでした。



選択活動のまが玉づくり。大人も子供も一生懸命削りました。



スタートの合図で滑走開始です。緊張が高まる瞬間です。



2人乗りのスノーレーサーに乗って、気持ちよさそうに滑っています。



1人乗りの部は、小さいスノーレーサーです。一直線にゴールを目指します。



大人の部。たくさんの方が参加しました。みんな真剣です。